

2024年 冬季地域座談会 主な質問・意見と回答

I. 営農部門

【米穀関係】

- Q 1. 令和5年産の猛暑等による品質低下を踏まえて、令和6年産からとるべき対策について指導してほしい。
- A 1. 猛暑に関する令和6年の生産対策に関する質問を多くいただきました。具体的な生産指導に関することについては、機関誌の「水稻情報」と時期別の栽培管理情報（紙面配付及びSNS）で随時お知らせいたします。
- Q 2. 穂肥やカメムシ防除を複数回実施するように指導が出ているが、資材費の高騰などで経費がかさんでしまう。良い方法はないか？
- A 2. 穂肥は、SPAD等を活用するなど生育診断に基づいて必要と判断される場合に施用することを基本としてください。カメムシ防除は、多発地や昨年度格落ち等の場合は2回防除を推奨しています。ともに品質・収量にかかわりますので、正しい判断に基づく施用・防除が大切です。
- Q 3. 葉緑素計の貸し出しが各支店1台とのことだが、今年も猛暑や渇水になると1台では足りないのではないかと？穂肥の時期になったら、主だった圃場を巡回して現地指導を行えないか？
- A 3. 葉緑素計の増設は検討しており、順次増設可能なところから行ってまいります。営農指導員の巡回指導についても実施いたします。
- Q 4. 令和5年産の品質低下により、令和6年産用種子の品質にも影響があるのではないかと？
- A 4. 種子としての基準を満たしたものが流通しますので、影響はありません。
- Q 5. 昨年、耐暑肥をJAに勧められて散布したが、3等米となり収量は例年どおりだった。JA佐渡全体での耐暑肥散布による効果はどうだったのか。
- A 5. 耐暑肥施用者（診断に基づく追肥施用者）の反収の平均は、全体平均の反収差で37kg増でした。等級では全体との差が1等は1.0%減となりましたが、2等は5.2%増、3等は0.4%減、規格外は3.8%減となり、品質・収量とも耐暑肥散布の効果はプラスであったと考えます。
- Q 6. 米の品質低下の理由が渇水とのことだが、水があった場所でも品質が悪かった。他の原因があるのではないかと？
- A 6. 昨年の品質低下の主な要因は登熟期間の異常高温に加えて後期栄養不足等と考えています。
- Q 7. 以前にも意見したが、模範例（未来プロジェクト）のところに等級結果を載せてほしい。作り方の指導だけで結果が周知されていない。
- A 7. 各事業所毎の未来プロジェクトサポーター品質結果（等級・反収等の平均値）を抜粋し広報誌でお知らせいたします。
- Q 8. 資料に令和6年産米の生産・集荷販売対策として、「用水供給体制について、関係団体と情報共有します。」と記載されているが、具体的にどのようなことに取り組むのか？

A 8. 県農地(農村計画課)、土地改良区、水利組合、稲作農家を含めた用水施設にかかわる方々と情報共有や優良事例等を学ぶ研修会等や用水の有効利用に向けた取り組みを行います。

Q 9. 令和6年からの金井と羽茂のカントリーエレベーターの受け入れ範囲や稼働内容について説明してほしい。

A 9. 詳細について輸送業者やカントリーエレベーター運営委員会で協議し、7月以降に利用者説明会でお知らせします。

Q10. カントリー保有米の紙袋が、開けにくく扱わずらい。

A10. 保有米袋の作成については現在、機械処理によるミシン袋で対応しています。作成時間並びに人件費等の観点から現状どおりとさせていただきます。

Q11. カントリーを利用しているが、農繁期の一番忙しい日に急に午後から休みとなり、受け入れしてもらえなかった。半日だけ急に休みといわれても生産者は困る。生産者はJAの日程に合わせて作業をしている。

A11. 大変ご迷惑をおかけいたしました。最盛期の受け入れ休止などの急な日程変更をできるだけ回避できるよう稼働日程を慎重に設定いたします。なお、機械の故障や受け入れ状況の変化によりやむを得ず受け入れ休止となる場合は、ご理解とご協力いただきますようお願いいたします。

Q12. カントリーエレベーターの靱認定が3等となったが、どのように精算されるのか説明してほしい。

A12. カントリーエレベーターの等級認定は、共同乾燥調製施設の機能上、乾燥玄米は利用者個人毎に調整保存は仕分けができず、利用者一律の等級となります。

令和5年産米については、検査員による等級検査において全体的に2等以上は困難と判断し、製品歩留まり増を見込んで3等仕上げで生産者手取り確保を優先しました。

精算方法の概略は、荷受け単位の品位に基づき個人の持ち分重量を加減し、取り扱い制度別でのプール精算となります。詳細は7月頃に令和6年産の取り扱い要領にてご案内いたします。

Q13. 令和5年産の規格外の精算単価は3等米の仮渡金の単価よりも高くなっている。3等米はどれくらいで精算されるのか。

A13. 3等米の最終精算金額は、現時点で未定ですが、最終的には規格外(未熟A)を上回る見込みです。

Q14. 令和5年産米の品質不良による減収が発生した時こそ、米穀流通対策基金を活用できないか。

A14. 令和5年度の米穀流通対策基金は、「米穀流通対策委員会」において5年産米の品質状況を踏まえ5年産米の集荷運賃経費の圧縮に充てることとなりました。

Q15. 佐渡市は世界遺産のことばかり取り組んでいるが、前から認定されている世界農業遺産については全然アピールしていない。佐渡市と協議してPRできるようにお願いしたい。

A15. 卸や米穀店への営業等では「世界農業遺産」のPRを行っておりますが、消費者向けのPRなど佐渡市と連携し宣伝PR手法を強化してまいります。

Q16. 椿尾は羽茂と近い。米の出荷は羽茂に出来ないか。

- A16. 集約保管の関係上、羽茂の倉庫は一部の品種を除き利用はせず、国中の倉庫に集約する計画ですので、これまでどおりとさせていただきます。
- Q17. 担い手不足のため何らかの手当をしていきたい。集落営農について説明会を開催してほしい。
- A17. 担い手不足・農地維持は喫緊の課題と考えます。JAとしても各事業所の役割としても集落での話し合いの場を積極的に設置し、他地域の参考事例等を交え各地域の実情・課題共有と具体的な取り組み支援策の検討をさせていただきたいと存じます。
- Q18. 米の検査において、人間が検査すると格差が出るのではないかと。機械での検査は出来ないのか？
- A18. 検査員は試験や定期的な鑑定訓練を行い、検査技術の平準化を図っています。また検査にあたっては、複数名を配置し、必ず協議ができる体制で実施しています。
機械検査については、島外の試験状況では鑑定精度が整わず、現在のところ導入は見通せない状況です。
- Q19. 相対価格はかなり上昇していると思うが、令和5年産の精算単価はいくらになるのか？
- A19. 最終精算単価は未定ですが、令和5年の10月と12月に追加払いを実施したなかで、令和4年産米の最終単価は上回る見通しです。
- Q20. 米の仮渡金について、1等と2等の格差をもっと付けた方が良いのではないかと。価格差があった方が品質の良いものを作らないといけないとの意識改革になるのではないかと。
- A20. これまでは、1等と2等では800円/俵の差を基本に仮渡金を決定しておりますが、そのほかの意見や実態も踏まえ、見直しは慎重に検討してまいります。
- Q21. 昨年、水稻品種「ゆうだい21」が話題となっていたが、どのような特徴があるのか教えてほしい。
- A21. 高温耐性があり、食味はコシヒカリ並みの良食味、茎は固く太いため耐倒伏性は強く葉いもち・穂いもちの抵抗性も強い品種と聞いております。
- Q22. コシヒカリBLは数年に一度組み合わせを変えていると聞きますが、昨年の種もみは組み合わせにより高温耐性が弱かった可能性があるのか？また、組み合わせを変えることで暑さに強い種もみを作ることは可能なのか？
- A22. BL種子は高温耐性がどの系統も弱く、よって系統の組み合わせによる高温耐性が高まることは基本的には難しいと考えます。
- Q23. 高温に強い品種に変えることはできないのか？また、新大コシヒカリは手に入るのか？
- A23. 佐渡産コシヒカリは産地銘柄ブランドであり、現段階ではコシヒカリを基幹品種として維持することを基本と考えます。他方、高温耐性のコシヒカリの育成・開発状況については情報収集に努めてまいります。また、新大コシヒカリについては、今のところ試験段階でありJAの入手は困難ではありますが、開示可能な情報があればおつなぎいたします。
- Q24. 北部RCの稼働はできないのか。
- A24. 現状では、稼働はできない状況です。稼働には様々な条件が必要であり、長期的な受益見通しなどについて議論を重ねてまいります。

【園芸関係】

- Q25. 園芸団地の計画は誰がどのように取り組むのか。意欲のある生産者が真剣になって取り組めるような仕組みにしてほしい。
- A25. 小木地区の果樹団地については、入植者候補の目途を立てており6年度中に具体的な造成計画を策定いたします。佐和田地区では施設園芸生産の候補地の選定をしており、団地入植者を確保したうえで造成に着手したい考えです。
- Q26. 農繁期対策は水稻作業の期間だけなので、柿の収穫時期も対応してもらいたい。皮むき機や乾燥機の修理依頼をお願いしたい。
- A26. 現状9月上旬から10月上旬までですが、12月頃までの延長は本年度については困難な状況です。具体的な体制構築が可能かも含め今後検討してまいります。
- Q27. シャインマスカットの倶楽部や部会を作る予定はありますか？佐渡のシャインマスカットの栽培方法を統一したほうが良いのでは。佐渡に合った選定方法・時期などを区別したほうが良い。
- A27. シャインマスカットについては「ハウスぶどう研究会」で栽培方法や出荷方法を統一して指導会を開催していますので、ご参加いただきますようお願いいたします。
- Q28. よらんか舎へ出荷するには正組合員資格が必要か？条件や費用等の詳細を知りたい。
- A28. 出荷者は原則正組合員資格が必要となります。また、とれたて直売部会への加入が必要で入会金と年会費が必要となります。詳細については各営農窓口にて確認ください。

【畜産関係】

- Q29. トウモロコシサイレージの取組はどのようになっているのか？栽培方法、製品製造、施設等の詳細を知りたい。
- A29. 飼料高騰により、畜産農家の経営継続には島内自給飼料の供給体制の強化が必要です。また、水田の有効活用の観点からWC S以外での取組みについても一定規模で普及可能かを見極める必要があります。とりわけ酪農家向けのトウモロコシ供給体制構築について令和6年に県の指導のもと一部の地域の水田で栽培試験として実施します。機械利用・製造は個人で栽培製造している酪農家に協力いただくものです。詳細については、広報誌等を通じてお知らせいたします。
- Q30. 後継者不足に加え飼料高騰等から今後、酪農家が急激に減っていくことが心配される。島内の酪農が無くなれば佐渡乳業の存続にも関わり、多岐にわたる連鎖が懸念される。また化成肥料の値上がりにより、今後、島内の有機物を使う機会が増えていくと思うが、牛が減れば使用することができなくなる。酪農後継者に地域協力隊制度を活用している他県の事例があるとも聞く。佐渡市も含めた畜産振興に力を入れてもらいたい。
- A30. 和牛繁殖及び酪農振興策を協議する「世界農業遺産の島‘佐渡’畜産協議会」は、県や市畜農家代表と関係機関で構成しています。既存生産者の生産振興はもとより新規担い手確保の取り組み強化は急務と認識します。国の地域協力隊制度等を活用の可能性も含めて協議会での議論と合わせ実施可能な対策を順次実施してまいります。

【生産購買】

- Q31. JAはホームセンターと比較すると価格設定が高すぎるのではないかと。農家との共存共栄を前提とするなら肥料・農薬の価格を下げなければいけないのではないかと。
- A31. JA佐渡では様々な予約メリットがございますので是非、予約でのご注文をお願いいた

します。すべての品目がホームセンターより安価ではありませんが、推奨品目等中心に、毎月価格調査を実施しホームセンターに劣らない様な価格設定をしております。

Q32. 令和5年度の春肥の注文書参考価格が、決定価格と違い過ぎる。価格交渉をどのように行っているのか。

A32. 価格交渉については共同購入により予約注文数量、昨年実績等を踏まえて交渉していますので、予約注文書での注文をお願いいたします。

【農政関係】

Q33. 米の数量配分は面積で換算しているが、山場の農地は1反当たりの収穫量が少ない。配分の見直しはできないか？

A33. 目標値については、前年実績をもとに島内のJAを含めた各方針作成者の販売計画や飯米等の想定数量を積み上げ面積換算で配分しています。作付け率は上がっているものの毎年不作付けが発生しているのも事実であり、佐渡市再生協議会で課題共有してまいります。

Q34. 産地交付金の配分金額が年々減少している。減少している理由はなぜか？JA佐渡はどういった対応をしているのか？

A34. 国の生産性向上支援策は拡充されているものの、地域における産地交付金は減額されている状況です。佐渡市再生協議会において、JAとしても産地交付金メニューに必要な支援について引き続き要望して参ります。

II. 農機・車両・燃料部門

【農機部門】

Q35. 農機具安全講習会は、どのようなことをするのか。また受講者は修了書や資格書が取得できるのか。

A35. 主に刈り払い機の使用法、長期間未使用時の保管方法等指導しております。JA独自の開催となっており、修了書や資格書等が発行されるものではございませんが、集落や農家組合等から依頼があれば伺いますので、お近くの農機センター担当者まで連絡をお願いします。

Q36. 道交法の改正や大型特殊の限定免許について、JAからも情報発信して欲しい。補助金の適用はないのか。農業大学校でしか受講はできないのか。

A36. 農耕用特種免許取得については、数年前にJAより教習所などに佐渡島内での教習をお願いした経緯がありますが、昨今においては、様々な規定・条件等があり、農業大学校研修センターでの実施となっております。農耕車が道路上を走行する場合には様々な要件等がございますので、機械購入時など担当者にお問い合わせください。

Q37. 農機具保管事業についてもっと宣伝するべきでは。保管だけの事業でも農家の需要があるのではないかと。倉庫が空いているなら是非やるべきと考える。

A37. 農地集積等により作業効率を高めるため大型機械への更新が進む中で保管場所の課題も生産者から高まってきたため、平成26年度からコスト削減の一貫として遊休資産の解消も併せ農機保管事業の取り組みを開始しました。格納整備が前提となる整備前の一時保管場所として畑野目黒町倉庫及び整備後の保管場所として畑野川西倉庫の両施設を改修し現在運用しております。農業機械の保管スペース確保にお悩みの方は是非ご相談く

ださい。

Q38. 機械のレンタル料金をもう少し安く、利用しやすい金額に設定できないか？

A38. 年間の利用状況、佐渡市の農作業標準賃金や機械化プラン基礎資料の一日の作業可能時間・作業反別等基準値、現在の情勢を踏まえてレンタル料金の設定を行っています。農機具の購入代金、格納施設、清掃修理点検代等の経費支出と比較してもレンタル料が農機具経費を低減できる試算となりますので是非レンタル事業をご利用ください。

【車両部門】

Q39. ダイハツの不祥事があったが、既に販売された車両や在庫で保有している車両はどうなるのか？

A39. 既に販売されているダイハツ車両については、リコール対象機種及び型式指定取消機種（キャスト、グランマックス）を除き、第三者機関及び国土交通省の検査により安全性が確認されておりますので、ご安心してお乗りいただけます。現在、ダイハツ工業においては、不祥事発覚前の受注車両しか製造しておらず、新規の受注については未定となっております。

Q40. 自動車の取扱高について、対計画比・対前年比ともに増加しているが要因は何か。

A40. 車両本体供給単価計画に対し、普通乗用車や高グレード車等の供給単価の高い自動車の供給割合が高かった事と、車検入庫台数において、計画・前年を上回っており、車検整備に伴う部品・タイヤ等の供給が計画・前年を上回った事が要因となります。

【燃料部門】

Q41. 灯油の定期配送は少量タンクだと配送できないと聞いているが、何故か。また、定期配送は注文配送より安いのは何故か。

A41. 灯油の定期配送については、配送の効率化を図る事により値引対応させていただいております。そのため、配送先のタンクは200リットル以上のタンク設置を値引き要件といたしております。この事により注文配送価格から4円/リットルお安く提供させていただいておりますのでご理解ください。

Q42. 停電時にスタンドが使用できるようにしてほしい。昨年の豪雪による停電時に使用できなかった。危機管理対策が必要では。消防法等を確認し災害に備えてほしい。

A42. 停電時用の発電機については100Vと200V両方が使用できる発電機が必要となり、サイズも大きく、あらかじめ機器との接続用に工事が必要なため、経費が高額となるため、全てのスタンドで準備することは難しいです。今後、必要なスタンドを選定し災害に備えることを検討いたします。

Ⅲ. 信用・共済部門

【信用事業】

Q43. ATMを再編したいとのことだが、ATMは支店統廃合等の際に代替え策として設置してきたものであり、廃止することにより利用者の利便性が失われてしまうのではないか。

A43. ATMの再編については、新紙幣導入に伴い低稼働機器を対象として実施させていただきます。一定の稼働率が維持できない機器について再投資をすることは難しいのが実情であり、ご理解をお願いいたします。なお、ゆうちょ銀行ATMの利用については他の金融機関においては有料となっておりますが、当JAでは平日の時間内での取引は無料で

入出金取引が可能ですのでご利用下さい。

Q44. 移動金融店舗車輛の導入がATM再編の代替策なのか。導入するにあたって導入予定地域との意見交換やニーズがあつての導入なのか。導入するのであれば利用しやすい時間や運行を検討してほしい。

A44. 今回のATM再編の代替案として、利便性が低下する地域（海岸線地域）を優先的に対応するべく、移動金融店舗車輛を令和7年度に導入いたします。

導入検討にあたって島外での導入事例視察を実施したところ、特に移動手段のないお客様からの利用が多いことを確認しました。お客様が利用しやすい時間、場所の検討も必要と考えていますが、より多くの地域を移動することも踏まえて検討し詳細が決まり次第お知らせします。

Q45. 媒体持込手数料、硬貨・両替手数料の新設および改定で利用者への説明はなぜないのか。手数料はJAが決めているのか、外部からの指示か。

A45. 各種手数料については、各金融機関において設定することとなっており、新設・改定の際はホームページ掲載、店頭掲示等で事前にご案内しております。

新潟県信連や他の金融機関の動向を踏まえて設定しています。

Q46. 媒体持込手数料5,500円は高い。電子記憶媒体であれば紙媒体より事務コストは軽減されると思うが。

A46. 電子記録媒体でも引落等、データを預かり変換・確認作業処理を完了するには時間を要しますし、データ内容に不備があれば更に時間を要します。ご利用者様の事務効率にも繋がる法人ネットバンクもご検討ください。

【共済事業】

Q47. 地震の発生で火災が発生し建物が全損したときの損害割合はどうなるのか？また、車両が全損した場合の損害割合はどうなるのか？

A47. 地震が原因で火災が発生し建物が全損した場合は、地震共済金として共済金をお支払いします。自動車の損害の場合は、自動車共済に「地震等車両全損時給付特約」を付加されている場合には、地震・噴火・津波によって被共済自動車が約款に定める全損となった場合に定額50万円（車両金額が50万円を下回る場合はその額）をお支払いします。

Q48. 集落活動の傷害共済や自賠責共済（新規）加入の手続き金融センターでも出来るようにして欲しい。

A48. 傷害共済・自賠責共済・火災共済（自動継続特約の付加されていない契約）等は、契約申込と同時に共済掛金の払込が必要となりますので、金融センターでは手続きができません。

Q49. 億友会の人間ドックについて、私たちが佐渡病院に直接申し込むと断られるのに農協の方で申込すると優先して対応してくれる。組合員一律で平等にしてみたい。

A49. 億友会の人間ドックは会員特典となります。億友会が人間ドックの枠を確保しているわけではありません。

IV. 総務部門

Q50. JA佐渡の広報誌等の封入方法は今後も継続するのか？ビニールで梱包しているが、必要ないのではないか。

A50. 配付物の仕分けの手間を減らす為、機関誌とチラシ類については、パッケージしたうえ

で宛先のシールを貼り付けて配付を行います。外務封筒については、紙資源削減の取り組みから使用しないこととしますが、購買伝票を配布する場合や購買明細や他のはがき類が多数となる場合などには、外務封筒に封入し配付する場合があります。その際には外務封筒の再利用にご協力ください。

Q51. 経営管理委員の定数は減少する方向で検討されていたのではないかと？

A51. 経営管理委員定数については現在 22 名ですが、役員体制等検討委員会での協議を踏まえ、令和 4 年度の通常総代会において、令和 6 年改選より生産組織代表と青年部代表の 3 名が減となることで決定しました。令和 6 年 3 月より羽茂地区の経営管理委員 2 名が加わり、計 21 名となります。

Q52. 経営管理委員はどのようなことをしているのか。

A52. 理事が行う業務執行上の基本方針や重要事項を決定します。また、月 1 回の定例の経営管理委員会で理事の業務執行の状況を確認し監督する役割をもっています。理事が業務執行を行う際にも、都度意見具申し、組合員や地域の人々の意思反映と地域のニーズに応えられるよう行政や関連機関との調整役となります。

Q53. 職員の数が以前から比べると減少しているが、募集は来ているのか？

A53. 令和 5 年度新卒募集を 2 回行いましたが、応募者はいませんでした。

Q54. A コープ店の商品価格が、他のスーパーと比べて高いと感じる。その理由は何か？

A54. A コープは島内全域で店舗運営をしており、全店舗への輸送費等のコストがかかるため、他のスーパーより高い商品もございます。引き続き一括仕入れや条件交渉の強化に取り組み、少しでもお求めになりやすい商品価格の提供に努めてまいります。

Q55. ポイントカードについて、レジでのポイント使用の声かけや案内がない。ドラックストア等では声かけしてくれる。

A55. レジでのポイント使用やレジ袋の有無のご案内・声かけ等を、再度全店全社員へ周知徹底してまいります。

Q56. A コープ店で割引きのシールを貼っていることがあるが、元の値段の上に貼ってありいくらか対しての割引か分からないことがある。また、刺身の割引方法が店舗によってバラバラである。売れないで処分するなら値引すべきではないか

A56. 割引シールは元の値段が分かる場所に貼るように再度全店全社員へ周知徹底してまいります。また、刺身につきましては、閉店まで通常価格での販売が困難と判断した場合に値引き処理をすることとなっています。今後は食品ロスの方からも残数に応じた柔軟な対応を行い必要に応じて値引き処理を行います。

※ 誌面の都合等から、いただいたご意見・質問等から主だったものの掲載としておりますことをご了承下さい。

※ 地域座談会後に状況が進展または変化した事項（米の価格情勢など）については、できるだけ直近の情勢に基づいて回答を作成しましたのでご了承ください。